

男女共同参画実現に向け 基本的な計画策定へ

問 男女共同参画社会の形成の促進に関する基本的な計画の策定に当たり、実効性をどう確保するのか、市内の中学・高校生の意見を反映させては。

答 人権問題に対する市民理解を深めるためには、検討段階からの市民参加が重要で、「さんかく岡山」を拠点に活動する各種団体で構成するプラン

研究グループでの議論の中で練り上げていきたい。また、これまでの網羅的手法を排除し、波及効果の高い事業に優先順位をつけるとともに、主要事業の位置づけを行い実施していきたい



議論を深めるプラン研究グループ

中学校にはパブリックコメントを求め、ボランティア活動等が活発な高校には議論の段階からの参画を呼びかけるなど、積極的に意見を聴取していきたい。

児童虐待防止に向けた 体制づくりを

問 急増する児童虐待に対応するため、予防・発見・ケアが有効に作用する本市独自の体制づくりを。

答 岡山市児童虐待防止連絡会のより機能的な運用を図るため、実務担当者による組織の立ち上げを検討している。主任児童委員の増員、保健所の乳幼児検診でのチェック、全保育園での虐待通報義務の周知等を行うとともに、岡山県中央児童相談所との連携や役割分担について、今後検討していきたい。

民生委員、児童委員の 適正配置に向けて

問 地域住民の福祉向上に大きく貢献している民生委員、児童委員の一人当たり担当世帯数のアンバランスの是正方法は、人選や研修内容は。

答 平成13年12月の改選期には、国基準の上限である三百六十世帯を超える地区に増員配置し、三年後の改選期には、国基準を超えた地区は何らかの調

整を行っていききたい。社会情勢の変化により重要性が高まる中、地域で真の適任者を推薦してもらおうという地区推薦準備会へお願いしている。研修の中で、ジェンダーの視点やDV等の新たな分野について周知徹底し、共通の基盤に立った活動ができるよう努めていきたい。

介護保険料 低所得者への減免制度

問 平成13年10月から介護保険料の本格徴収が始まるが、低所得者への減免制度の内容は、滞納者への対応は。

答 介護保険料は所得に応じて五段階に設定されているが、第二段階の「世帯全員が市民税非課税」で、生活保護基準以下の収入の方には、月額保険料を三分の一減額して第一段階と同様にしようと考えている。滞納者が13年11月以降にサービスを受けた場合、いったん費用を全額支払い、後から市の窓口で九割の還付を受けることになる。被保険者への啓発・広報活動を通じて介護保険制度に対する理解を求め、償還払いの適用がないよう努力したい。

環境



溶融スラグ

市発注工事で有効利用を

問 循環型社会構築の観点から、焼却灰を溶融固化したスラグを、市発注工事で使用しては。

答 庁内に溶融スラグ研究班を設置し、有効利用策を検討しているところだ。関連団体との協議等の結果、本市のスラグは、アスファルト混合物骨材や道路用路盤材等として十分利用可能であることから、今後、市発注工事で優先的に使用する仕組み

づくりなど、具体的実施に向けて積極的に取り組んでいきたい。

市西部のリサイクルプラザ 平成18年度稼働に向け整備

問 市西部にもリサイクルプラザを早急に整備すべきでは。

答 廃棄物を資源として循環させるためには、市西部にもリサイクルプラザが必要であり、都市計画決定、環境アセス等の手続き、国庫補助事業としての採択を経て、平成18年度稼働を目指したい。施設整備に当たっ

ては、環境分野におけるPFI手法導入が有効との全国的な動向を踏まえ、地元の工学系先端企業の参画も視野に入れ、PFI事業としての可能性を検討しながら進めたい。



資源リサイクルを推進(東部リサイクルプラザ)

エコタウン事業で リサイクル産業推進を

問 リサイクル産業推進に向け、産・官・学が一体となって基礎研究から事業化までを行う国の「エコタウン事業」に、本市でも取り組む考えは。

答 環境分野での技術進歩は目覚ましく、新技術を産・官・学で研究することの重要性は認識している。本市としても、基礎研究から技術開発、実証実験